

「男女でつくる幸せあふれる奈良県計画」の推進状況概要

こども・女性局こども・女性課

I 評価指標

全10項目について、概ね改善が進んだ。
それぞれ目標には達していないものの、大幅に改善している項目もある。

主な指標

○第1子出産前後の女性の就業継続率

H30年 52.8% → R5年 58.4% (目標値: 70.0% (R5年))

○企業における男性の育児休業取得率

R元年 2.0% → R6年 47.0% (目標値: 30.0% (R6年))

II 成果指標

全32項目のうち、今回把握可能な29項目のうち、上昇指標が20項目、下降指標が8項目、横ばい指標が1項目となり、半分以上の指標が上昇した。

主な指標

【上昇した主な項目】

○「なら女性活躍推進倶楽部」の登録企業数

R2年9月 127社 → R7年7月 200社 (目標値 200社 (R6年))
順調に増加しており、目標値を達成した。

○県職員の管理職における女性の割合 (課長補佐級以上)

(医療関係職員、教育委員会、県警を除く)

R2年4月 15.1% → R6年4月 22.2% (目標値 22% (R8年4月))
引き続き、様々な分野やポストへ女性管理職の登用を進める。

○県男性職員の育児休業取得率

R元年度 19.7% → R6年度 68.2%うち1ヶ月超: 35.2%
(目標値 50%うち1ヶ月超: 25% (R7年度))

引き続き、職員向けに制度周知を行い、積極的な取得を推進する。

○男女共同参画計画策定市町村数

R3年4月 17市町村
→ R7年4月 26市町村 (目標値 30市町村 (R7年度))

○子育てに心理的・精神的な不安感・負担感を感じている母親の割合

H30年度 49.8% → R5年度 47.9% (目標値 40%以下 (R5年度))

(参考) 県内市町村における男女共同参画推進状況

○市町村職員の管理職における女性の割合 (課長級以上) (教育職除く)

R5年4月 22.9% → R7年4月 25.0%
女性の管理職は年々増加傾向。